

## 予防医学的見地からサプリメントの有効性を議論 - 眼科学会国際会議 SERI ARVO のシンポジウムで -

シンガポールの Singapore Eye Research Institute (SERI) と米国の The Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO) が共同で開催する「第一回 SERI-ARVO 会議」が 2 月 6 日 (木) ~ 9 日 (月)、シンガポールで開催され、予防医学的な立場からサプリメントの在り方を問う本格的な議論が交わされました。アジア、米国を中心とした世界の眼科学会関係者が一堂に会するなか、2 月 8 日 (土) には、ケミン・ジャパン (東京都港区) の協力のもと、ルテインに関する情報を発信しているルテイン情報局 (Lutein Information Bureau) が「眼科学におけるサプリメントの重要性」と題するシンポジウムを開催。これまで眼科医療の現場や医学界において、栄養素の働きによる健康維持・予防について本格的な議論が十分行われていなかったことから、今回のシンポジウムには多くの学会関係者から高い関心が寄せられました。

セミナーには、研究機関や医療機関などから 180 人が参加。米国ユタ大学医学部のポール・バーンスタイン博士と大阪市立大学大学院の尾花明博士 (医学研究科視覚病態学) が、それぞれ米国、日本におけるサプリメントの現状を報告しました。尾花博士は、欧米とアジアにおける人種的特性や食生活の違いを説明し、「アジア人向けデータを早急に収集する必要がある」と指摘。一方、バーンスタイン博士は、加齢によって引き起こされる眼病、黄斑変性症 (AMD) とサプリメントの関連性について講演を行いました。AMD 研究の専門家である同博士は、人間の目の黄斑部に存在するルテイン色素の濃度を測定する機器を新たに開発したことを報告し、「今回の開発によって、今後さらに AMD とルテイン摂取の関連性が研究によって明らかになるでしょう」と述べました。続いて、オーストラリア、英国、シンガポールの研究者らと交え、「眼科学におけるサプリメント摂取 その真価を問う」と題するパネルディスカッションを実施。治療や研究にどの程度サプリメントを取り入れるべきか など、真摯な議論が展開されました。

シンポジウムの終了後に行ったアンケート調査によると、回答者の 95% が「今回のセミナーでルテインに対してより興味を持った」としています。また、韓国、マレーシア、日本など各国の眼科医からは、「ケミン・ジャパンが販売する FloraGLO® ルテインを使用した臨床試験を行いたい」、「同様のセミナーを自国の学会でも行ってほしい」といった要望が寄せられました。ケミン・ジャパンでは、「シンポジウムに参加したインドネシアの医師が“今こそサプリメントを学ぶべき時だ”とのコメントを残しています。この言葉が表すように、これまで学会領域ではサプリメントについての十分な議論がなされてきませんでした。今回のシンポジウムが本格化のきっかけを作ることができたのでは」としています。

## **ルテインについて**

「ルテイン」とは、脂溶性抗酸化物質であるカロチノイドの一種で、ホウレンソウやケールなど緑色葉菜に多く含まれる成分です。近年の研究により、人間の眼の黄斑部と水晶体に存在するカロチノイドはルテインとその関連物質であるゼアキサンチンだけであることがわかり、ルテインは眼の働きに重要な役割を果たす栄養素として注目されるようになりました。特に、高齢化の進む先進諸国では失明原因のトップに挙げられる眼病、加齢黄斑変性症(AMD)や白内障の発症リスクを低減する成分として認められているほか、最近では、乳がんや皮膚の健康との関連性も指摘されています。

ルテインに関する詳細は、「ルテイン情報局」日本語版ウェブサイト <http://www.luteininfo.jp> をご参照ください。

## **ルテイン情報局(Lutein Information Bureau)について**

ルテイン情報局は、ルテインについての認識を高め、加齢黄斑変性症(AMD)や白内障など眼病の予防、治療に対するルテインの役割をお知らせするための機関です。ルテインの最新情報、健康への効能、実施中の研究についての最新報告を公開し、一般消費者やメディア、研究コミュニティにとって有益な情報を発信することを目的としています。情報局の運営は、FloraGLO®ルテインの製造販売元であるケミンフーズL.C.の支援によって行われています。

## **「FloraGLO®」(フローラグロー)ルテインについて**

FloraGLO®ルテインは、ケミンフーズ社の特許製法によってマリーゴールド(*tagetes erecta*)から抽出・精製されたルテインです。自然界に存在する天然のルテインと同じ成分を抽出・精製したことで米国の独立した第三者機関によって評価され、一般に安全とみなされる(GRAS)物質であると認められています。同社では、日本、米国、カナダ、EUなど世界9カ国・地域で製法特許を取得しており、すでに100種類以上のビタミン剤やサプリメントといった栄養補助食品、食品、パーソナルケア商品などにFloraGLO®ルテインが利用されています。

## **ケミンフーズ社(Kemin Foods, L.C.)について**

米国アイオワ州デモインに本社を置くケミンフーズ社は、世界60カ国以上で事業を展開しているケミン・ワールドワイド・グループの一員として、食品や補助食品、パーソナルケア向け天然成分の製造販売を手がけるグローバル企業です。同社では、アジア地域における拠点として2000年にケミン・ジャパン(株)を設立。国内における販売パートナーである(株)光洋商会とともに、FloraGLO®ルテインの普及活動に取り組んでいます。

「FloraGLO®」ルテインとケミンフーズ社に関する詳細は、<http://www.keminfoods.com> (英語)をご参照ください。